

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

調査日:2024年10月

公表:2025年 4月

事業所名 きらら那珂川

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		集団活動や運動はホール、個別療育は個室を使い十分なスペースで療育をしています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		適切な人員を配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		玄関以外はフルフラット。段差が低い為歩行が不安定な児童も上り下りができます。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的な職員間で療育方法など話し合い業務改善を行っています。	振り返りを行い、課題について話し合い職員間で共有をしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		昨年のアンケート調査をもとに業務改善を行っています。	保護者様の意向を把握し、職員間で会議を行い業務改善に繋げていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		集計後、HPにて公開予定です。	今後も集計後公表を行っていきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現時点では、未実施です。	今後、実施を検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		子どもの送迎時安全管理・感染症対策研修等を受講しています。他の研修機会があれば積極的な参加を促しています。	研修に参加し、事業所内でフィードバックを行い参加出来なかった職員に共有出来るようにしていきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		計画書作成前にしっかりと面談を行い、ニーズや課題に基づいた計画を作成しています。	保護者様との面談を行い、課題を把握して支援計画を作成していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		個人に応じたアセスメントツールを使用しています。	モニタリング時には統一したチェックシートを使用していきます。必要に応じて見直しを行っていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月に1度会議を開き、療育状況の共有や活動プログラムの立案見直しを実施しています。	今後も職員間で活動内容を見直ししていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		月に1度職員会議を開き、プログラムの見直しを実施しています。	集団や個別・季節によっての活動など行えるようにしていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		休日、長期休暇中には行えない課題を各児童に合わせて実施しています。	個別活動や集団活動を取り入れています。時間配分や内容については職員と話し合い周知していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		児童の課題に合った個別・集団での活動を計画書に記載しています。	個々の状況や課題に応じて支援計画を職員・保護者との話し合いで作成していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼の時間を設けて、その日の職員の動きの確認や児童に関する事を共有しています。	毎日、朝礼を行い、その日の役割分担や支援内容について確認を行い、職員間で情報の共有をしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		送迎にて難しい場合には、振り返りは翌日の朝に行っています。	利用児童の活動記録をその日関わった職員が記入し、重要な事はその日のうちに職員に周知するようにしていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		当日の療育担当者が記録をとる為、対象児童の様子を正確に書く事ができています。	活動記録や申し送りを含め、支援の検証・改善を行っていきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		適切な時期にモニタリングや職員会議を行い計画の見直しを行っています。	定期的にモニタリングを行い、見直しが必要であれば、その都度行っていきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		ガイドラインの活動と児童の課題を考慮した支援を行っています。	共有ガイドラインに示している基本活動を指針として活動内容を作成していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者会議の前に職員会議等を行い情報共有を行っています。	担当者会議の日程調整(シフトの関係)を出るだけ行い、ふさわしい者が参画し情報共有を行っています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		利用予定表を前もってFAXで送ったり、送迎の際に担任の先生等と情報共有を行っています。	送迎時に学校の先生と情報共有する時間を設け、学校の情報は保護者を通じて行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	医療的ケアが必要な児童の受け入れを行っていません。	医療的ケア児がいません。今後、受け入れになった場合は対応できるようにしていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		担当者会議の中で、その事も含めて会議を行っています。	今後も関係機関との情報共有と相互理解に努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	現在まで、該当者がいないので実施していません。	今後、該当者がいる場合は、情報を提供していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	現在は実施していません。今後、機会があれば専門機関と連携していきます。	助言や研修は受けていません。専門機関との連携は行っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		地域の児童館や公園に行き障がいのない子どもと関わる機会があります。	今後も、このような機会を増やしていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	現在は実施していません。今後そのような機会が持てるよう検討していきます。	今後、実施を検討していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や連絡帳を通して情報交換を行っています。またそれを、職員間で会議を行い共有をしています。	保護者とはその都度、密に連絡を取り合い情報共有し、共通理解を持てるようにしていきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	今後検討していきます。	今度、保護者からの悩みなどに対して助言やアドバイス等を行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に担当者から書類と口頭にて説明を行っています。	利用契約時に運営規定・支援内容・利用者負担等について説明を行い、質問等にもすぐに返答出来るようにしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談があった際には担当者が面談を行い助言・支援等を行っています。	相談があった場合には助言を行っています。後は定期的に保護者とお話する機会を設けていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	現在は実施していません。	保護者の意向を聞き、実施については今後、検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情受付担当者・苦情受付責任者を決め、苦情があった際には対応できるように体制を整えています。	契約時に説明し、迅速に苦情対応にあたっていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		会報はありませんが、行事予定についてはその都度送迎時や連絡帳等にて直接保護者にご連絡しています。	会報等は発行していませんが、今後、活動概要や行事予定などの会報の発行を検討しています。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報取り扱いの研修を行ったり、鍵付き棚にて管理を行っています。	引き続き、個人情報の取り扱いに注意していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		言語コミュニケーションが困難な児童には絵カードやジェスチャーを使用しています。	連絡帳や送迎時に保護者に助言をし、意思の疎通を図っていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	現在は実施していません。	保護者の意向によっては、今後、実施を検討していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルを策定し、職員がいつでも見て対応できるように掲示しています。	保護者に対しては周知していませんので、今度事業所内に掲示すると共に、計画書切り替え時に説明をしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		各種避難訓練は行っています。防災センターに行き体験活動も実施しています。	定期的に避難訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		開所時に虐待防止研修を実施しています。今後も定期的に実施する予定です。	シフトの調整を行うなどして、研修の機会を確保していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に担当者から書類と口頭にて説明を行っています。	事業所内でも今一度、職員間で研修を行い、身体拘束等について周知していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食物アレルギーがある児童については他児と机を分け、持参した物のみを摂取しています。	保護者からの指示に従い、対応していきます。必要に応じて医師の指示書に基づいて対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットを元に事例集を作成して、情報共有しています。	今後事例集を作成して、全職員で共有し改善策について検討していきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。